

# 幡多の太陽

令和2年11月24日 第16号

## 人権の花植え

12月に鉢花配り



土佐清水市人権擁護員2名と土佐清水市人権課職員1名の方に来ていただきました。人権擁護委員さんより、この「人権の花」の取り組みの意味などについて話していただき、その後、仲良し班ごとに12月になったら、以布利・大岐両地区の独居高齢者に配布する鉢花植えに取りかかりました。全部で、約60鉢、準備しました。その後、卒業式の時

に使用するため、残りのパンジーの苗をプランターに植えました。パンジーを育てることを通して、人にやさしくする心も育てていってほしいと思っています。心のこもった鉢花を12月には配布しましょう。また、卒業式には、心のこもったパンジーで会場を華やかに飾りましょう。みんなの喜ぶ笑顔を楽しみにして、パンジーの世話を頑張りましょう。



## 幡陽っ子を育てる会

委員の皆様のご参会ありがとうございました

11月16日(木)の16時から本校ランチルームにおいて「第2回幡陽っ子を育てる会」を行いました。まず、児童会より児童会の活動についてとコロナ禍での修学旅行の報告をしてもらった後、学校と地域との懇談を行いました。その中で、交通安全についての意見が出ました。「ヘルメットはかぶっているのだが、かなりスピードを出して自転車に乗っている子がいる。追いかけてこのようなことをしたり、ひっついて乗ったりしている。車も通行人も多い所なので危ない。」「下り坂でブレーキもかけずにスピードを出して乗っている。」というものでした。事故にあわないように、また、事故を起こしたりしないように自転車に乗るときには気を付けるようにしましょう。保護者や地域の方がこのような光景に出会いましたら、「気を付けて」の声掛けを是非お願いいたします。

## 月に1度の読み聞かせ



子どもたちの聞く姿勢から、聞き入っている様子が分かると思います。これが、いつもの読み聞かせの時の様子なのです。

月に一度、幡陽小学校に市民図書館の移動図書が来てくれています。子どもたちは、借りていた本をこの時、返却し、新たに本を借りています。その後、ランチルームで職員の方が本の読み聞かせをしてくださいます。高学年になると読み聞かせはねえ…と思われるかもしれませんが、低学年から高学年までいつも一生懸命に聞き入っている子どもたちの姿を見受けることができます。読み手が上手、ということもあるのですが、それだけ本には魅力があるということなのでしょう。

本の読み聞かせにはもう一つ、生涯学習課が行っているボランティアの読み聞かせも月に1度あります。「とても一生懸命、聞いてくれる。」とボランティアの方に褒めていただいています。いい本に出会い、心を耕し、感性を豊かにしてほしいと願っています。

幡陽小の子どもたちは、読書の時間が少ないという実態があります。たまには、親子で読書をしてみませんか。高学年であっても、親の読み聞かせ、子どもたちは喜び、一生懸命聞いてくれると思いますよ。そんな時間も必要なのではないでしょうか。



移動図書の読み聞かせは、ランチルームに全学年が集まって行われていますが、生涯学習課のボランティアの読み聞かせは、各教室にボランティア3名の方が分かれて行き、それぞれの教室で読み聞かせをしてくれています。紙芝居風にして読み聞かせをしてくれたり、学年にあった本を読み聞かせてくれたりと、いろいろ工夫して読み聞かせをしてくれています。



